

災害保健のフレームワーク ～社会不安と健康

中澤 港

2012年4月11日

予防医学における 国際・災害保健の位置づけ

- ◆ 予防医学のフレームワーク
 - ◆ ゼロ次予防 = prerequisites for health (in Ottawa Charter, 1986)
 - ◆ 一次予防: 健康増進 (健康教室, レクリエーションなど) + 特異的予防 (予防接種, standard precaution, 職業病予防など)
 - ◆ 二次予防: 早期発見 (健診・検診), 早期治療
 - ◆ 三次予防: 社会復帰

Prerequisites for health

- ◆ http://www.who.int/hpr/NPH/docs/ottawa_charter_hp.pdf
- ◆ The fundamental conditions and resources for health are:
 - ◆ peace,
 - ◆ shelter,
 - ◆ education,
 - ◆ food,
 - ◆ income,
 - ◆ a stable eco-system,
 - ◆ sustainable resources,
 - ◆ social justice, and equity.
- ◆ Improvement in health requires a secure foundation in these basic prerequisites

国際・災害保健の対象

- ◆ Peace, Shelter, Income, Equityなど, Prerequisitesが損なわれている人々
 - ◆ 自然災害ばかりでなく, 戦争, 資源枯渇, ソーシャルキャピタルの損失など, さまざまな社会不安が原因となりうる
- ◆ まだ健康な人もいるし, 既に発病した人もいるが, ゼロ次予防に問題がある点が共通
- ◆ さまざまな形の援助がありうる
 - ◆ 現地に入って実際に活動
 - ◆ 行政へのアドヴァイス
 - ◆ 健康影響の研究(成果発表が必須)
 - ◆ 資金提供
 - ◆ ...

社会不安と健康

◆ 社会不安の種類

◆ 物資の欠乏

- ◆ リン鉱石採掘で栄えていたナウルの崩壊
(cf.) ジャレド・ダイヤモンド『文明崩壊(上・下)』

◆ 紛争と犯罪

- ◆ アジア, アフリカ, オセアニア, 中南米など途上国での内戦や紛争
- ◆ 近代化の進行に伴う社会格差増大が大きな原因

◆ 自然災害

- ◆ 地震と津波
- ◆ 火山噴火

◆ 急激な開発

物資の欠乏

- ◆ イースター島の事例 (ダイヤモンド, 2005)
 - ◆ 火山性土壌, 亜熱帯
 - ◆ 年降水量1000mm強
 - ◆ 西暦900年より少し前にポリネシア人到来
 - ◆ 野鳥, ネズミイルカを獲り尽くし絶滅させた
 - ◆ 焼き畑, 薪, カヌーなどのため森林伐採し高木絶滅
 - ◆ 人口激減(100年間で1/3), カニバリズムも
- ◆ ナウルの事例
 - ◆ リン鉱石のroyaltyで生活し働く必要が無くなったため, 食糧は1970年代から100%輸入に頼る。40歳以上の成人の40%以上が糖尿病という事態に
 - ◆ リン鉱石枯渇とともに飢餓へ

紛争と犯罪

- ◆ パプアニューギニアのラスカル
 - ◆ 都市に出て暴走した若者の無法化, 広域化
 - ◆ レイプの多発によりHIV/AIDS患者も増大
- ◆ ソロモン諸島のエスニック・テンション
 - ◆ (詳細は別スライドで)

自然災害

- ◆ エルニーニョによる旱魃
 - ◆ 飲料水不足
 - ◆ 食糧不足
 - ◆ 皮膚疾患の増加
 - ◆ 下痢の増加
- ◆ 地震と津波
 - ◆ 家屋の損失
 - ◆ 生業の損失による長期的影響
 - ◆ 食糧, 水の不足
 - ◆ 心理的影響

急激な開発

- ◆ 持続不可能な森林伐採
 - ◆ 土壌流出
 - ◆ 蚊の増加
 - ◆ 食糧不足
- ◆ 大量の採鉱と精錬
 - ◆ 中国やナイジェリアの鉛汚染
 - ◆ アマゾンのガリンペイロの水銀中毒
- ◆ 原発事故も、ある意味ではこの範疇に入る

援助について

- ◆ どの社会不安についても、自助努力だけでは生存困難な場合が多い
- ◆ 援助は必要。だが、ゴールをどこに置くか？
 - ◆ ゼロ次予防の達成？
 - ◆ 原状回復？
 - ◆ 自立？
 - ◆ タイムスパンは？